会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅、池永
日 時	平成23年9月28日(水曜日)		開 議 午後 5 時 30 分
			閉 議 午後 6 時 10 分
出席委員	◎木曾 ○苗村 山本 井上 福井 菱田 西村 明田		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 1名	報道関係者 一名	

会 議 の 概 要

1 開 議

[木曾委員長 あいさつ]

2 議 事

- (1) 次回の議会報告会について
(ア) 開催要項について

<菱田委員>

- ・決算特別委員会が増えるので、各委員会5分の説明としている。
- ・チラシの配布はどうか協議いただきたい。
- ・メンバーは前回と同じにしているが、これで良いか協議いただきたい。

<木曾委員長>

チラシは必要部数を用意して自治会に持参し、11月に回覧で良いか。

ー了承ー

時間配分はこれで良いか。

ー了承ー

担当者は前回と同じでよいか。また、会場責任者はどうするか。

<菱田委員>

亀岡地区東部に委員がいないので、福井委員と小島議員を交代しては。

<木曾委員長>

そのようにする。では、亀岡地区東部の会場責任者は福井委員、大井町は苗村副委員長、東つつじヶ丘は井上委員にお願いする。レコーダーはどうか。今回、事務局は参加するのか。

<事務局>

参加する。

<木曾委員長>

レコーダーは当日事務局に確認して操作を。

<井上委員>

チラシは自分が作成すれば良いか。

<木曾委員長>

お任せする。確認はする。

<井上委員>

カメラはどうするのか。

<木曾委員長>

全員協議会で各会場に分かれて役割分担を決める。全員協議会はいつの予定か。

<事務局>

10月4日の閉会后すぐの予定である。

(2) 次々回の議会報告会の会場について

2月10日(金) 19時30分～(予定)

- ・ 亀岡地区中部(総合福祉センター)
- ・ 宮前町(宮川公民館)
- ・ 千歳町(千歳町自治会館)

<木曾委員長>

日程はこれで良いか。

—了承—

では、これで議運に諮る。

《議会だよりについて》

<木曾委員長>

本日の議題にはないが、議会だよりの表紙写真について協議することとする。

<苗村副委員長>

前回の委員会では、まず井上委員から普通救命講習または亀岡の移りゆく町並み、山本委員からは運動会、明田委員からは亀岡祭のくじ取り式、私からは秋の風景など、色々意見がだされた。この中から決めていくことでどうか。

<木曾委員長>

井上委員からは2つの意見が出されているがどちらかに絞るように。

<井上委員>

普通救命講習とする。

<木曾委員長>

普通救命講習に賛同する委員の挙手を求める。

(挙手: 井上委員のみ)

<木曾委員長>

コスモスなどの秋の風景は。

(挙手なし)

<木曾委員長>

運動会の風景は。

(挙手: 山本委員、福井委員)

<木曾委員長>

亀岡祭のくじ取り式は。

(挙手: 苗村副委員長、菱田委員、西村委員、明田委員)

<木曾委員長>

トップ写真はくじ取り式で決定する。撮影は事務局で願う。

<福井委員>

山鉾連合会に許可を得なければならないのでは。

<明田委員>

山鉾連合会に確認する。

<井上委員>

くじ取り式の意味を付記するよう、写真説明書きが必要では。

<木曾委員長>

そのとおりする。

<井上委員>

かめまるのイラストを表紙の150号の位置に掲載することについては。

<木曾委員長>

かめまるは活用するが、どこに配置するかは次回検討する。

<井上委員>

かめまるのイラスト使用許可については。

<木曾委員長>

事務局に確認願う。

《議会報告会のネーミングについて》

<事務局>

チラシや議会だよりに掲載する議会報告会のネーミングはどうするか。前回、「議会報告会・市民と語る会」などにする案が出ていた。

<木曾委員長>

ネーミングを変更したチラシを一度作ってもらい、それで確認することにしては。

<事務局>

チラシだけでなく、議会報告会を広報していく名称となるので、どうするか確認願いたい。

<木曾委員長>

ネーミングはこれから色々な部分に関わってくる。

<井上委員>

「みんなの」もしくは「市民のための」議会報告会としては。

<木曾委員長>

「議会報告会と市民と語る会」でどうか。

<福井委員>

議会報告をし、そのことについて意見を聞くスタイルを変えないのであれば、「議会報告会」のままで良いのではないか。

<山本委員>

「議会報告会」にしておき、その都度考えるのはどうか。

<福井委員>

報告したことについて質問を受け、時間があれば地域の要望も聞くというのが元々のスタンスでは。最初から「意見を聞きに行きます」では、地域懇談会とどう違うのかということになる。議会報告会のあり方のスタンスの共通認識を持ちたい。

<菱田委員>

大前提は福井委員の言う通りだが、それだけでは本来の広聴の仕事は果たせない。いずれは、市政全般や議会に対する要望・意見など、地域懇談会とは異なる議会ならではの意見をいただき、二元代表制を市民に認識いただくという究極の目的がある。スタートは「議会報告会」で、そのことについて議論するが、それを踏まえながら、多くの市民から意見を広聴させていただく場所、ということで良いのでは。

<木曾委員長>

固くやると人が集まりにくくなる。とりあえず議会に関心を持ってもらうことが必要。

<苗村副委員長>

実際、地元の要望も出ている。より参加してもらうために「議会報告と皆さんと語る会」など、柔らかい表現にすることに賛成。

<西村委員>

参加者から次から次に意見が出たら、收拾がつかなくなるのでは。

<山本委員>

色々な意見を聞く場でもあるので、「皆で語る議会報告会」のような感じで柔らかくしては。

<井上委員>

司会が上手に仕切れば大丈夫なのでは。

<木曾委員長>

「議会報告会」のままでも良いが、考え方をワンステップ上げて考えてみてはどうか。

<明田委員>

工夫は必要だが、議会報告会の趣旨自体も分かる。サブで柔らかい表現をするのでどうか。名前は「議会報告会」が他市でも多い。

<木曾委員長>

「議会報告会」だけにするか、「議会報告会と市民と語る会」などサブタイトルをつけることにするかで決を採る。「議会報告会」だけが良いと思う委員の挙手を求める。

(挙手：西村委員、明田委員)

<木曾委員長>

その他の委員はサブタイトルをつけるということで良いか。

<西村委員>

決の前に言うが、「皆で語ろう」などのサブタイトルをつけると、質疑を時間で打ち切ることは失礼になるのでは。

<木曾委員長>

今まで心配するようなことはなかった。まず来てもらうことを考えるべきでは。サブタイトルをつけるということで良いか？

—了承—

では、「議会報告会と（サブタイトル）市民と語る会」で進める。

散会 ～18：10